

第7回 RIDCマンスリー研究セミナー
壊さずしてモノの内部情報を探る
ミュオン非破壊分析法による考古学研究

スピーカー

南健太郎

岡山大学 埋蔵文化財調査研究センター

日時：2021年12月15日(水) 12:00～13:00

ミュオンは宇宙から降りそそぐX線で、物質に対する透過力が極めて高いことが特徴的です。また加速器で生成されたミュオンは、物質を透過して、内部の任意の場所の成分や同位体に関する情報を得ることができます。ミュオンはこれまで破壊分析でなければなし得なかった物質内部の分析を、完全非破壊でおこなうことができるのです。これによってこれまでは諦めざるをえなかった分析が可能になり、考古学研究は新たな展開を迎えています。今回のセミナーでは特にミュオン非破壊分析法に着目し、現在進められているミュオンを利用した考古学研究と今後の展開についての考えてみたいと思います。またミュオンを中心に据えた考古学と物理学、芸術学、金属材科学とのコラボレーション研究についてもご紹介します。

申し込み先：<https://forms.gle/5Loqt88rtXLvGWwBA> (申し込み締め切り：12月14日12:00)

*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。

問い合わせ先：文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp